

まえがき

昨今は、ご承知のとおり、国内においてトンネルや高架橋等のコンクリート剥落や劣化等による重大な事故やトラブルが発生し、技術大国を自負していた我国の安全神話が問い直されたり、公共事業についても、厳しい財政事情のなかで、環境問題、コスト縮減や建設廃棄物のリサイクル、事業の再評価、既存のストック施設の有効利用など、大きな変革が求められております。

このように、我々技術者を取り巻く情勢は非常にめまぐるしく動いており、このため、建設技術の開発研究は、より一層技術の向上に努めることは勿論のこと、効率的な研究や社会・建設現場の要請に向けた情報の提供等を、より一層進めることが益々重要であろうと思います。

本県におきましても、厳しい財政事情や行政需要の多様化するなか、これに応える研究開発と、研究活動の透明性を図ることが強く求められており、このため当研究所においても、県民に開かれた効果的かつ効率的な試験研究等を推進し、より優れた研究成果を上げることが目的に、平成12年度から評価制度の導入を行うことになりました。

今後も、より一層、福井県という風土・気象・文化・産業等、地域特性を活かし、「安全で安心な、環境と調和した社会の創造」を目指した21世紀の地域造りに貢献できる試験研究を推進するとともに、現在まで蓄積された研究成果の行政・現場への反映、普及に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

本報告書は、平成11年度の研究成果や業務実績をとりまとめたものであり、研究にご協力ご支援いただいた関係者皆様方に感謝申し上げますとともに、本報告書が、いくらかなりとも皆様方の参考になれば幸いに思います。

平成12年 8 月

福井県雪対策・建設技術研究所

所長 小 川 一 男